



		ONO Motoyuki
	氏名	小野 元之 統括研究科長
	略歴	<p>京都大学法学部卒業。</p> <p>1968年文部省入省、文部事務次官、文部科学事務次官を歴任。2003年～2011年日本学術振興会（JSPS）理事長、同志社大学客員教授、関西大学客員教授、京都大学大学院総合生存学館特任教授</p> <p>第1次安倍内閣・教育再生会議委員、科学技術・学術審議会人材委員会・国際委員会委員、学校法人城西大学理事、大学院センター所長、城西国際大学大学院国際アドミニストレーション研究科・統括研究科長。</p> <p>仏・レジオンドヌール勲章シュバリエ、独・功労勲章大功労十字章受賞</p>
	専門領域	教育政策、教育制度論、教育法、教育課程、教育改革、大学改革。
	担当科目	「政策研究Ⅶ」（教育）
	研究テーマ	教育政策・大学政策のあり方、教育改革・大学改革の方向性
メッセージ	<p>私は、ゆとり教育からの転換や国立大学の法人化について文部科学省の事務次官として政策決定の責任を負う立場にいました。また第1次安倍内閣では教育再生会議の委員として教育再生に真剣に取り組んできました。さらに日本学術振興会 JSPS では Hope Meeting の実施や科学研究費補助金の基金化と大幅増、ポストクなど若手研究者の育成に力を注いできました。</p> <p>教育は国家百年の大計といわれます。大学院生のみなさんと、国の将来を担う教育政策について、過去の歴史も振り返りながら、ともに研究していきたいと考えています。留学生の皆さん、真剣に学び研究すれば必ず未来は開けます。</p>	
		OSHIMA Taku
	氏名	大島 卓 研究科長
	略歴	<p>法政大学大学院社会科学研究所修士課程修了。大阪市立大学助教授、米国マサチューセッツ工科大学（MIT）客員研究員、城西大学経済学部教授、同大学院経済学研究科長、同大学院経営学研究科長、同経営学部教授、同水田記念図書館長、学校法人大学院センター副所長などを歴任し、2013年城西国際大学大学院国際アドミニストレーション研究科長・教授に就任。</p>
	専門領域	産業分析（自動車・IT産業の国際比較）、日本経済分析、ベンチャー・ビジネスの動向分析。
	担当科目	<p>「国際企業研究Ⅹ（グローバルマーケティング）」</p> <p>「国際アドミニストレーションインターンシップ」</p>
	研究テーマ	自動車産業・自動車リサイクル産業、IT産業、物流産業などの国際比較研究を行っています。
メッセージ	<p>中国の瀋陽で生まれた私は長年、自動車産業・IT産業などの日中比較研究を行っています。私は、ケース・スタディーの研究成果を授業にふんだんに取り入れ、グローバルマーケティングに留意しながら大学院生の皆さんと一緒に、新しい「ビジネス・イノベーション・モデル」について研究していきたいと考えています。努力し、目標に向かって邁進して下さい。</p>	

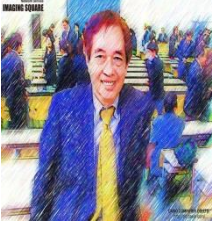

2013年 国際アドミニストレーション研究科 教員リスト



		ISHIDA Masumi
	氏名	石田 益実 教授
	略歴	MSU Business Administration MBA 取得 Michigan State University School of Agriculture Department of Natural Resources 博士課程退学
	専門領域	資源開発、途上国開発
	担当科目	「国際研究X (エネルギー)」 「国際アドミニストレーションインターンシップ」
	研究テーマ	持続可能な開発、資源論の構築
	メッセージ	温暖化問題はエネルギー消費と密接に関係する。また経済開発はエネルギー消費の増加を促す。東南アジアでのエネルギーセクター作りの経験を基に、これらの視点から途上国のエネルギー・セクター開発のあり方を研究テーマとしているが、さらに資源開発評価方法や観光資源開発も研究テーマとしている。院生には、グローバル問題に関する分析の視点形成をして欲しい。さらに、個別事例に関しての分析力を養って欲しい。
		WATANABE Junichi
	氏名	渡辺 淳一 教授
	略歴	University of Newcastle Upon Tyne 都市農村学部 Ph.D. (地域計画論) JICA 青年海外協力隊にてケニア (建築) での協力活動に従事した後、英国にて地域計画論を学んだ。国際協力分野のコンサルタント (財) 国際開発センターにて、農村開発や援助政策・評価などの業務を 15 年行った。東洋大学、東京大学、日本大学、城西国際大学国際アドミニストレーションの講師を経て、2010 年から城西国際大学観光学部、教授として教鞭を執る
	専門領域	地域計画論 (特に制度・組織)、社会調査論、プロジェクトマネジメント・評価、国際協力論、観光政策
	担当科目	「国際アドミニストレーション基礎論Ⅳ(研究・調査法基礎)」 「政策研究Ⅱ (地域計画)」 「事例研究Ⅱ (非営利企業マネジメント)」 「事例研究Ⅲ (プロジェクトマネジメント・評価)」 「国際アドミニストレーションインターンシップ」
	研究テーマ	中核としては、地域とは何であるかを考察しつつ、地域プランナーのための地域計画論や社会調査論を研究していきたい
	メッセージ	異文化の中で仕事をしてきました。このような経験や知見から一つの考えが導かれました。それは、現場の人々から学び、歴史から知恵を得ることです。つまり、「考え、創る。そして貢献する」です。社会に貢献できる調査研究を、院生と共に行えることを楽しみにしています。



2013年 国際アドミニストレーション研究科 教員リスト

		IIKURA Akira
	氏名	飯倉 章 教授
	略歴	79年慶應義塾大学経済学部卒。92年国際大学大学院国際関係学研究所修了(国際関係学修士)。2010年学術博士(聖学院大学)。現在、城西国際大学国際人文学部教授。著書:『イエロー・ペリルの神話——帝国日本と「黄禍」の逆説』(彩流社、2004年)、『日露戦争諷刺画大全』上・下巻(芙蓉書房出版、2010年)、『黄禍論と日本人』(中央公論新社、2013年)。
	専門領域	国際政治学、日露戦争研究、第一次世界大戦研究
	担当科目	「国際アドミニストレーション基礎論Ⅲ(論文作成法基礎)」 「国際研究Ⅰ(国際機構)」 「国際研究Ⅴ(国際協力)」 「国際アドミニストレーションインターンシップ」
	研究テーマ	最近、第一次世界大戦期の表象(諷刺画)研究に取り組んでいます。
	メッセージ	指導は厳しいと言われています。それなりに覚悟してゼミに入ってください。院生の研究テーマとしては、上記の専門領域に含まれるもの、もしくは私自身の最近の研究テーマに沿ったものに限ります。
		FUKASAWA Shigeki
	氏名	深沢 茂樹 教授
	略歴	城西大学理学部化学科 卒業、城西大学理学部化学科助手(生化学)として勤務、城西大学理学部化学科専任講師、城西国際大学経営情報学部助教授、城西国際大学経営情報学部教授・人文科学研究科教授、城西国際大学福祉総合学部教授、城西国際大学環境社会学部教授・国際アドミニストレーション研究科教授、現在に至る。
	専門領域	環境科学、健康科学、生活科学など。
	担当科目	「政策研究Ⅳ(環境)」 「国際アドミニストレーションインターンシップ」
	研究テーマ	海に棲息している光るバクテリアが生産する酵素の研究に関する英論文を学会誌に多数書いている。また、発光魚の研究も行っており、フィールド・ワークとして全国の魚市場を検索している。水族館関係や企業との共同研究も多く行っている。最近、現代社会で使用されている多くの化学物質がどのように生活・環境にかかわり、影響しているかを調査している。健康な日常生活をするための科学、老化を予防するための科学を研究している。また、生態環境・地球環境などを含めた視野からのエコロジー全般に関する研究をしている。授業や講演では、聞いて得するサイエンス(科学)を心がけている。出来る限りわかり易い話を提供したいと考えている。
	メッセージ	文化系、理科系を区別しないで、現代社会で生じている様々な現象に関心をもってほしい。新聞を読むこと、テレビのニュースを見ること、を心がけてほしい。


2013年 国際アドミニストレーション研究科 教員リスト

		KURIKI Le Thanh Nghiep
	氏名	栗木 レタンギエップ 教授
	略歴	1965 : Saigon 大学 (ベトナム) 中退、年日本文部省奨学生として来日、1965-68 : 年千葉大留学生部 (日本語、教養課程)。1970 : 学部卒 (北大)、1972 : 修士 (北大)、1975 : 年博士 (北大)。1976-90 : (財国際開発センター研究員、主任研究員を歴任、アジア、アフリカ、中南米のフィールドワークを中心にODA・基礎研究に従事。1990年からJU,JIU。JIUでは国際交流学科長、留学生センター所長などを歴任。現在は、JIU 国際人文学部国際交流学科及び国際アドミニストレーション大学院所属教授。
	専門領域	経済開発、農業開発、応用計量経済学
	担当科目	「国際研究VI(国際経済学)」 「国際アドミニストレーションインターンシップ」
	研究テーマ	経済成長の要因分析 (ベトナム、中国、東アジア)、農業成長の要因分析 (戦前期の日本農業、ベトナム農業など)、成長と所得分配、など
	メッセージ	開発経済学が専門ですが、演習では経済学の分野に限定せず、広く社会科学関連の処分やにテーマを広げて指導するつもりですので、ぜひ参加してください
		OBUCHI Yoichi
	氏名	小淵 洋一 教授
	略歴	1971年3月明治大学大学院政治経済研究科博士課程修了 1971年城西大学経済学部講師、準教授を経て、1983年教授。 2006年より現代政策学部教授、2013年同学部客員教授。
	専門領域	交通経済学、都市経済学
	担当科目	「政策研究X(都市)」 「国際アドミニストレーションインターンシップ」
	研究テーマ	
	メッセージ	院生へのメッセージ：早めに研究テーマを決めて、しっかり修士論文の作成に取り組みましょう。

		SUZUKI Takahiro
	氏名	鈴木 崇弘 客員教授
	略歴	<p>東京大学法学部卒。マラヤ大学、イースト・ウエスト・センターおよびハワイ大学大学院で政治学・未来学専攻修士号取得。総合研究開発機構、日本国際フォーラム、笹川平和財団、日本財団勤務、東京財団研究事業部長、(社)アジアフォーラム・ジャパン上席研究員、大阪大学特任教授・フロンティア研究機構副機構長、自由民主党改革実行本部シンクタンク準備室長、自民党系の政策研究機関「シンクタンク 2005・日本」理事・事務局長。91-93年までアーバン・インスティテュート(米国)アジャクント・フェロー。</p> <p>現在中央大学大学院公共政策研究科客員教授、法政大学大学院兼任講師、朝日新聞 WEBRONZA のレギュラー論者</p> <p>関西ニュービジネス協議会学生ニュービジネス大賞 2004 選考委員長。大阪駅北地区国際コンセプトコンペ優秀賞受賞(共同提案者)</p>
	専門領域	現在の専門および関心分野は、民主主義の起業、政策インフラの構築、新たな社会を創出していける人材の育成さらに教育や統治における新システムの構築。
	担当科目	「政策研究Ⅰ(公共)」 「事例研究Ⅳ(政策形成ワークショップ)」 「国際アドミニストレーションインターンシップ」
	研究テーマ	新しい政治システムや政策形成の構築や政策・政治インフラの創出。政治・有権者教育や市民教育。
	メッセージ	ぜひ社会的関心をもって、専門性を極めながら、広い視野から学んでください。専門性と広い視点をもったT字型人材に成長していただきたいと思います。頑張りましょう!!!
		SONE Shika
	氏名	孫根 志華 准教授
	略歴	復旦大学卒業後、民間企業就職 明治大学政治経済学研究科博士前期課程修了(経済学修士) 同上 博士後期課程修了(経済学博士)
	専門領域	中国マクロ経済、国際経済学
	担当科目	「国際研究Ⅷ(アジア共同体)」 「国際地域研究Ⅶ(地域連合・総合)」 「国際アドミニストレーションインターンシップ」
	研究テーマ	中国マクロ経済政策、東アジア地域統合
	メッセージ	大学院で知的創造の喜びを味わいましょう。

		YU Yuang
	氏名	于 洋 准教授（研究科長補佐）
	略歴	早稲田大学大学院経済学研究科博士課程修了、博士(経済学)。早稲田大学大学院経済学研究科助手を経て、現在城西大学現代政策学部准教授。城西大学国際教育センター副所長、城西国際大学大学院国際アドミニストレーション研究科長補佐。学外においては、早稲田大学現代政治経済研究所客員研究員、同志社大学社会福祉教育研究センター客員研究員、早稲田大学大学院公共経営研究科兼任講師、立教大学経済学部兼任講師なども兼任。主な著書に、『新版人的資源管理の基本』（共著、文真堂、2013年）、『中国の弱者層と社会保障—「改革開放」の光と影—』（共著編、明石書店、2012年）、『中日韓生活保護制度研究』（共著、中国経済出版社、2012年）などがある。
	専門領域	財政学、社会保障論
	担当科目	「政策研究Ⅷ(福祉)」 「国際アドミニストレーションインターンシップ」
	研究テーマ	社会保障財政の国際比較、高齢者福祉サービスの供給システムの国際比較などを行っている。
	メッセージ	日本だけでなく、中国においても、少子高齢化の急進に伴い、社会保障と社会福祉政策の重要性はたいへん注目されている。私は特に社会保障の財源調達と高齢者福祉サービスの提供というテーマに興味があり、日中の比較研究を行っている。それらの問題に関心のある大学院生の皆さんと一緒に福祉政策について語りたいと考えている。大きな目標は、日々の努力によって実現するものである。どうぞ、大いに学び、大いに活躍して下さい。
		SEN Seiki
	氏名	誉 清輝 教授
	略歴	早稲田大学大学院商学研究科博士課程前期終了後、昭和アルミニウム(株)に就職。1986年貿易会社を起業、2005年中国上海交通大学において管理学博士号を取得。城西大学経営学部非常勤講師を経て、2010年同大学客員教授に就任。2012年より早稲田大学大学院商学研究科非常勤講師。
	専門領域	国際マーケティング、流通経済論、アジア経済イノベーション特論。
	担当科目	「国際企業研究Ⅰ(グローバル経営)」 「国際アドミニストレーションインターンシップ」
	研究テーマ	日台企業のアライアンス戦略、東アジア企業の国際競争と協調。
メッセージ	国際ビジネスに通用する人材の育成に力を注ぎます。特に自動車産業、電子産業の世界的な生産・輸出基地となっているアジア経済にとって、今日の最重要課題が何であるかを追及する。常に最新トピックを取り上げて解説する。また外国人留学生のために、授業ではビジネス・異文化コミュニケーションの話題を取り込み、インターンシップの指導を通じて、修士課程修了後の進路相談についてもきめ細かな対応をします。	

2013年 国際アドミニストレーション研究科 教員リスト

		HABUCHI Nobuhiro
	氏名	羽渕 信宏 教授
	略歴	明治大学大学院商学研究科修士課程修了。(株朝日ビジネスコンサルタンツ設立起業、現在に至る。文部科学省職業教育高度化開発研究座長のほか旧文部省認定全国経理学校協会・検定作問委員長（上級検定他全8科目）などを経て、2010年、城西大学経営学部非常勤講師、2012年、同経営学部客員教授に就任。同大学院経営学研究科で、「マネジメントアカウンティング・イノベーション特論I・II」「演習」を担当。
	専門領域	会計監査、管理会計、税務会計、IFRS
	担当科目	「特別講義II（エグゼクティブプログラム）」
	研究テーマ	「原価計算」・「管理会計」
	メッセージ	数字が読める、経営がわかる！活きた情報の取得と鋭い分析・確かな視点はここにある！長期にわたる企業コンサルの経験をもとに、実務的な検定試験問題を作問してきました。院生自身による問題発見能力と課題解決能力とを鍛えます。ポイントは実行力！夢と希望に向かって、幅広い一般教養と専門知識を！